

2019年5月27日

名古屋三交ビル 2020年4月開業 と 1階テナント決定のお知らせ

三重交通グループホールディングス株式会社（取締役社長 小倉敏秀、本社：津市中央）及び三交不動産株式会社（取締役社長 高林 学、本社：津市丸之内）は、現在建替工事中の「名古屋三交ビル」について、建設工事が順調に進行していることから、当初予定の2020年6月開業を2カ月繰り上げて2020年4月中の開業とすると共に、このたびビル1階の商業フロアのテナントが決定しましたのでお知らせします。

新たな建物は店舗、オフィス、ビジネスホテルで構成され、名古屋市営地下鉄「国際センター」駅コンコースと地下歩行者通路により接続される予定です。

1階店舗には、三重県名産松阪肉の専門店「株式会社朝日屋(本社：津市北丸之内)」が、名古屋地区初出店となる本場松阪肉を提供する飲食店『すき焼き牛しゃぶ「松重(まつじゅう)」』と、名古屋の老舗カフェ「株式会社サンモリッツ&東京青山口ハスビーンズ」がスペシャルティコーヒーを提供する初業態のコーヒースタンドを出店します。創業50年を超える東海エリアの両老舗名店の出店は、昭和・平成・令和にかけての「名古屋三交ビル」の歴史を繋ぎ、新たに生まれ変わる「名古屋三交ビル」が、地域の拠点としての賑わいをもたらす店舗になるものと考えております。



(左上)1階正面エントランス (左下)地下1階連絡通路 (右)建物外観イメージ

建設地は、「名古屋」駅徒歩8分、名古屋市営地下鉄「国際センター」駅徒歩1分、目抜き通りである「桜通」に面し、地下街ユニモールで名古屋駅にも直結する利便性に優れた立地です。新たな「名古屋三交ビル」は、建物全体が優れた耐震性、防災性と機能性をもち、省エネルギー化等を図るとともに、名駅エリアの新たな都市機能と景観を創出し、更なる地域活性化の一端を担って参ります。

名称	名古屋三交ビル	構造	地下1階地上16階建
建設地	愛知県名古屋市中村区名駅三丁目21番7号 ■名古屋駅徒歩8分、 ■地下街ユニモール14番出口すぐ ■名古屋市営地下鉄桜通線国際センター駅徒歩1分 ※地下1階で国際センター駅とエレベータ設置によるバリアフリー接続	主要用途	1階 店舗 2～7階 オフィス 8～16階 ビジネスホテル (「三交インGrande」客室128室予定)
		敷地面積	1,227.48㎡(371.31坪)
		延床面積	約10,470㎡(3,167坪)
		総事業費	約50億円
		設計監理・施工	株式会社竹中工務店

(次頁へつづく)

【名古屋三交ビルの主な特徴】

(1)名古屋市営地下鉄「国際センター」駅コンコースとの接続

地下1階にて名古屋市営地下鉄「国際センター」駅コンコースと新しいビルをつなぐ地下歩行者通路を設けます。エレベータを利用した接続により、名古屋駅方面へのバリアフリーによるアクセスが可能となります。新たな接続部は内照式の照明等を採用し、歩行者の安全や通路の美観に寄与します。

(2)新たな賑わいの形成と外観デザイン

建物構成は店舗、オフィス、ビジネスホテルとすることでビジネス・観光等の交流拠点を形成し、賑わいを創出します。また、建物上層部の外壁を多面体の集合体で構築し、季節、時刻による日影での変化を表現したデザインを計画しております。

(3)フレキシブルかつ快適なオフィス空間の提供

オフィス賃貸フロアは一般企業様向けと三重交通グループ各社が入居予定。今後の多様な働き方や機能の最適化を図れるオフィス空間を提供いたします。また三重交通グループ各社のオフィスを集約することで、名古屋地区の拠点としてグループ機能の強化を図ります。

(4)ワンランク上のビジネスホテル「三交イン Grande」ブランドにて出店

8～16階のビジネスホテルは三重交通グループの(株)三交インが運営するワンランク上の「三交イン Grande」ブランドが出店予定。全客室面積15㎡以上、バス(一部ユニットシャワー)、トイレセパレート式、人工温泉質のスパなどを設け、ビジネスユースはもとより観光ニーズにも対応できるよう、お客様にゆったりと過ごして頂ける空間を提供いたします。

【位置図】

